

ワークショップ ニュース



昨年の6月から始めました三丁公園のワークショップも都合7回、半年にわたる議論を重ね、ようやく計画内容がまとまりました。参加していただいた皆さんには厚くお礼を申し上げますとともに、この議論を生かしながら詳細な設計に反映していきます。今後も三丁公園の進捗を見守っていただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。今回で最後となるこのワークショップニュースですが、前回お示しした三丁公園最終プランを基に、屋根付き広場の話や具体的な防災機能など、実際の公園の使い方などについて議論した内容をニュース形式にまとめてみましたのでご覧いただくと幸いです。

作成・発行

東浦町
建設部 公園緑地課



【第7回 ワークショップのまとめ！】

「三丁公園の計画案を確認しよう！」

平成23年12月15日(木) 19:00~21:00

南部ふれあいセンター 会議室にて 参加者9名でした！

平成24年3月発行

A班の意見

グループワーキングでの意見

B班の意見

＜屋根付き広場＞

- ・大屋根の大きさは500㎡程度（新城総合公園程度）で地面は人工芝とする。屋根はコストも考えてあまり高くしない。
- ・ゲートボールくらいはできるような広さは欲しい。
- ・南側の多目的広場には野球利用者対策として防球ネットを設けたい。
- ・他の公園で行っているボール遊びを行えるようにした方がよい。そのためにも多目的広場の舗装は、違うものが必要。

＜防災機能＞

- ・災害時に水道供給がストップすることを想定し、マンホールトイレに使用する水の量を災害用貯水槽または井戸水でカバーできるようにするとよい。
- ・愛知用水を災害時に活用できるとよい。



＜管理運営＞

- ・管理運営計画の方向性を決めないとハード（施設）も決まてこない。
- ・犬を入れるかどうかについては、於大公園でもフンの処理に困っているので検討が必要。

＜その他＞

- ・体操や軽い運動ができる広場。
- ・小さな子どもの遊び場、日除けや休憩所を設ける。
- ・植栽のための水の確保が必要ではないか。

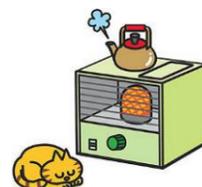


＜屋根付き広場＞

- ・規模については、贅沢な休憩所とならないよう日常と防災のためのバランスや予算を含めて設定していく。
- ・ボール遊びができない公園が多いので、フットサル、テニスコート、キャッチボールなどが自由にできる場所が必要であり、そういう場になるとよい。
- ・大屋根があれば天気への心配をせずイベントを計画できるし、雨だけでなく、紫外線のことを考えても屋根は有効である。
- ・フットサルやテニスコートにして有料化の検討もしたが、利用者が限定されてしまうという問題がある。
- ・普段もよく使える場にしていく。多目的に利用できる空間になるとよい。
- ・災害時の公園利用イメージを明確にした上で、大きさを決める必要がある。
- ・広場の使い方、管理の方法、建物の規模や作り方は三位一体で考えないといけないので結論は出なかった。
- ・最終的な大きさとしては、避難場所としては、防災1000人×1㎡=1000㎡が一つの目安となる。

＜休憩所について＞

- ・大屋根と休憩所を一体で防災教室、防災イベント・情報提供の場とするとよい。防災ネットと協働できるとよい。
- ・休憩所が二次避難所となる可能性もあるかもしれないので、そのための対応を考慮する必要がある。



＜その他＞

- ・この場所は夏場すずしく、いやしの展望広場は夕涼みに最適であろう。



ワークショップでの主な意見交換内容

(○:WS参加者意見、→:東浦町回答)

《周辺住民への意見募集について》

○意見募集をやってよかったと思う。ワークショップで出なかった意見もあるのでよかった。多くの人から色々な意見をもらうことはよい。もっと早い時期からいろんな意見を聞いた方がよかった。

○意見に対する回答をいつするのか。
→ 町ホームページにて回答します。

《今後の整備スケジュールについて》

○用地買収できない場合、プランの変更はあるのか。
→ 用地買収の状況によってはプランの微修正が生じるかもしれないが、基本的にはワークショップで作ったプランを極力生かす形で整備したい。

○住民との話し合いは、今後も続けてほしい。
→ 現時点で三丁公園計画のまとめとなる報告会の開催を考えています。

○管理運営をいつ、どのように決めていくのか。
→ ワークショップは今回でひとつの区切りとします。今後の予定は未定。

○このプランで作られていくのか。
→ 基本的には、この内容で進めていく予定です。



みんなの三丁公園

ワークショップ

◆ワークショップ方式の会議に初めて参加/1~2回目まではやらされている気がしたが、参加者が積極的に発言するようになってから充実してきた◆防災公園との関連で、「施設の管理運営」をテーマに第2弾のワークショップを開催すべき◆全体として大変勉強になり楽しかった◆東浦町の各種計画も是非今回のようなワークショップ方式でやって欲しい/情報の住民への公開を、もう一工夫、二工夫する必要がある◆形はどういう風になってもまだまだ話し合いは必要で、住民との協働で管理運営をしていかなら必要◆休憩所に授乳室を配置してほしい◆管理面が一番問題であるが“地域に愛される”を目指すなら、なるべく地域で維持・管理に参加する形が理想/宿題が残された中で最終回はどうか?◆意見書には広報なんかで回答してほしい◆防災の教育、実習など拠点としての位置づけ~防災用品、機器など常時展示、講習のできる場◆パブコメの意見を見てやはりワークショップの中だけでは出ない意見があった◆管理運営も同時進行で考えないとこの先難しい/防災活動の拠点という考え方を大きく推したい◆ドッグランは、工場予定地の遊んでいる土地を活用したらどうか/町の直営にすると、どうしてもあれはダメ、これはダメ、できないという発想になるので、管理委託とか「使える公園」でないとダメ◆ワークショップの進め方については当初の5回なら5回で終了する努力をすべきで何回も引っ張っていくべきではない/内容でも一部問題あり(用地等)◆最初に話し合ったようにみんなが集まれる公園になればよい。今後が楽しみ。



お問合せ

事務局：東浦町役場 建設部公園緑地課（担当：三宅）
住所：〒470-2192 東浦町大字緒川字政所 20
TEL：0562-83-3111(代表)
FAX：0562-83-9756
http://www.town.higashiura.aichi.jp/28kouen/sancho.html

ありがとうございました!

